

日上市立坂本小学校 学校長：小山 彰一

【実施日時】	平成21年1月29日(水) 10:00~13:00
【参加者と人数】	3~4年生267名
【コーディネーター】	根本 久美子
【講師】	イスカンダル・スリアント(インドネシア) 李相恩(韓国) ラビンダラ・ジャヤセカラ(スリランカ) アンドリュー(アメリカ)
【活動内容】	オリエンテーションと講師の自己紹介(全体会・学年ごと) 交流タイム(国ごとにグループ活動)・言葉・挨拶・民族衣装・国の特徴や食べ物などの紹介など・児童からの質問
【参加者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国のことはパソコンや本を使って下調べをしてありましたが、イ・サンウンさんに本物のチマチョゴリを見せてもらって、写真で見たよりとてもきれいだし、どんな感じなのかがよく分かりました。ジュギチャギという遊びも教えてもらえて楽しかったです。 ・スリランカのことは総合の学習で調べ始めるまで何も知りませんでした。美しい世界遺産があることや、宝石の産地であることが初めて分かり行ってみたいくなりました。 ・スリアントさんに、インドネシアの国旗や国の位置、食文化などについて教えてもらいました。一番びっくりしたのはバナナを天ぷらにして食べるということです。ぼくはバナナをいつもそのまま食べているので、いろいろな食べ方があるんだな、ほかの食べ物についても調べていきたいなと思いました。
【担当者の感想】	<p>初めて触れる国の方のお話に、児童は素直に驚き、感動していました。講師の皆さんが準備をたくさんしてきてくださり、ありがたく思います。やはり食文化や服装、学校の様子など日常生活にかかわる事柄は、本やインターネットで調べることに以上に、実際に見たり聞いたりすることでよく理解でき、また、さらにもっと知りたい、調べようという意欲にもつながりました。</p> <p>1学年45分間で予定しましたが、時間が短すぎてせっかく準備された内容が全部はできませんでした。次回は、時間を長くし、もっと交流タイムが長くできるようにしたいです。</p>

